

予算決算

【文責 加藤委員長】



◎総務部所管
問 防災整備事業は。

答 平成29年度から備蓄

品整備5か年計画に基づき、1万2千ずつ確

保する。備蓄品以外の物も検討しており、防

災プロジェクトチーム、住民の声を聴きながら対応する。

問 災害時備蓄品に関する飲料水の保存期限の見直しは。また、経費削減効果は。

田中委員 答 平成30年度までは2年保存の飲料水を購入していたが、10年保存の飲料水に変更し、廃棄ロスを減らしたい。

経費削減効果は約450万円の見込み。

当初予算の注目点にせまる!

場者があり、松前町を訪れる方々を町内に滞在させることができ

る。イメージアップ戦略につながり、映画祭を実施することで観光・産業の振興につなげたい。

問 消防防署に一艘、配備している船外機付きの小型ボートの拡充は。

答 ゴムボートは、協定を結んだ民間の釣具店から非常時には調達できることで対応する。

問 愛媛国際映画祭の内容は。

岡井・田中・村井委員 答 11月または12月頃に実施予定。実行委員会から詳細は発表されていない。上映内容も未定だが、海外映画祭の受賞作品や愛媛ゆかりの映画になる。

問 水資源開発地下水調査委託料の内容は。

村井委員 答 応用地質株式会社が昭和54年から水位調査を行つており、調査箇所は現在11ある。水位調査と、水位測定機器の保守も委託している。毎月簡易な報告、年度末に一括した報告書を受領している。

問 地方交付税収入は、1億1千万円増額となるのか。

また、財政調整基金繰入金は、昨年度より1億6千万円増となつてているが、積立てすることに問題はないのか。

早瀬委員 答 平成30年度に消費税の見直し配分があり、従来、本店等がある課税地への配分が多かつたが、納税者である消費者人口の多いところに多く配分されるよう見直された。その想定で平成30年度当初予算の積算を行う際に、過度に歳入を見込んでいたため、予算が増えている。そのため、各自治体への配分額が大きくなつたこと

が、消防団からの要望があれば検討をする

後の建築箇所は未定だとして見込まれる金額を計上している。

問 選挙公報の作成の印刷製本費と手数料は。

村井委員 財政調整基金の残額は3億5千万円程度だが、平成30年度決算による法定積立金が約1億3千万円から1億5千万円程度と見込まれ、当年度末では5億円程度まで積立てができると考えており、当面は対応できると考

答 町議選では、印刷製本費45万2千円のうち、選挙公報印刷費が約29万2千円。手数料52万8千円のうち、選挙公報新聞折り込み手数料が約11万3千円。

問 地方交付税収入は、1億1千万円増額となるのか。

また、財政調整基金繰入金は、昨年度より1億6千万円増となつていているが、積立てすることに問題はないのか。

早瀬委員 答 平成30年度に消費税の見直し配分があり、従来、本店等がある課税地への配分が多かつたが、納税者である消費者人口の多いところに多く配分されるよう見直された。その想定で平成30年度当初予算の積算を行う際に、過度に歳入を見込んでいたため、予算が増えている。そのため、各自治体への配分額が大きくなつたこと

が生じたものである。
たため、予算案との差が生じたものである。